



# GXtest インストールガイド

2014 年 7 月改訂

ジェネクス・ジャパン株式会社

<http://www.genexus.jp>



GeneXus Japan Inc.

Copyright © 2014 GeneXus Japan Inc. All rights reserved.

本書には正確な情報を記載するように努めました。ただし、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。なお、本書に記載されている画面はソフトウェアの更新などにより予告なく変更される場合があります。ご了承ください。

本書に記載のその他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。GeneXus Japan Inc. は他社製品の性能または使用につきましては一切の責任を負いません。

ジェネクス・ジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2 丁目 27 番 3 号

電話番号 : 03-6303-9381 FAX : 03-6303-9980

<http://www.genexus.jp>

## 目次

はじめに.....	4
システム要件.....	5
テストクライアント.....	5
ソフトウェア要件.....	5
ハードウェア要件.....	6
サーバーリポジトリ.....	6
ソフトウェア要件.....	6
ハードウェア要件.....	6
ユーザー登録.....	7
アプリケーションのインストール.....	10
ライセンスの請求.....	15
新規ライセンス請求.....	15
継続ライセンス請求.....	19
ライセンスの取得.....	21
ライセンスの移行.....	24
2台のコンピューター間でライセンスを移行する.....	24
ネットワーク上のユーザーにライセンスを移行する.....	29
ライセンスのアンインストール.....	34
ライセンスの再発行について.....	35
エビデンスファイルを提出できる場合.....	35
GeneXus License Manager のステータスを確認する.....	35
エビデンスファイルを作成する.....	36
エビデンスファイルを提出できない場合.....	37
緊急ライセンスについて.....	37
アプリケーションのアンインストール.....	38



## はじめに

本書では、GXtest のインストール手順、ユーザー登録、ライセンスの請求および登録手順について説明しています。

アプリケーションのインストールの前には、ハードウェアおよびソフトウェアの要件を確認する必要があります。また、ライセンス請求の前に注文書を弊社宛に郵送して頂く必要があります。弊社での注文書の確認前にライセンスの請求を行うと、ライセンスの発行が遅れる場合があります。なお、事前にユーザー登録された担当者以外のライセンスの請求は受け付けておりません。

GXtest のライセンスの転売は禁止されております。同一のお客様および組織変更などの場合を除き、ほかのお客様に変更／譲渡することはできません。ライセンスの請求・登録の際には必ず内容を確認し、ライセンスの取り扱いには十分に注意してください。

## システム要件

GXtest には、「**GXtest Designer**」、「**GXtest Manager**」、「**GXtest Executor**」、「**GXtest Generator**」および「**GXtest Daemon**」の 5 つのツールが含まれています。また、これらのツールをインストールするための、次の 3 つのインストールオプションがあります。ハードウェアおよびソフトウェア要件は選択するオプションによって異なります。

- **テスタークライアント**：テスト担当者や開発者用のインストールオプション
  - GXtest Designer + Recorder：テストケースを自動化し、その実行方法をテストするための 2 つの基本的なツール
  - GeneXus がインストール済みの場合：GXtest Extension：KB から GXtest へのメタデータのエクスポートを実行できます。
  - GXtest Generator：ボタンを 1 回クリックするだけで、WorkWith や WorkWithPlus などのパターンのテストを自動的に生成できます。
- **サーバーリポジトリ**：中央管理するテストリポジトリ用のフルインストールオプション
  - テスタークライアント (Recorder + Designer + Extension + Generator)
  - GXtest Manager：自動化されたテスト、環境、アジェンダ、およびテスト実行の分散を管理するための Web アプリケーション
  - GXtest Executor：回帰テストのテストケースを自動的に実行するためのクライアント (GXtest Manager でスケジューリング)
- **カスタム**：GXtest に含まれるツールの中から必要なツールのみを作業環境に応じてインストールするオプション

### テスタークライアント

#### ソフトウェア要件

- **オペレーティングシステム**：Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1\*、Windows Server 2003、2003R2、2008、2008R2

- **ソフトウェア :**

- .NET Framework 2.0 SP 2
- .NET Framework 3.5

- **オプション (推奨) :**

- Microsoft SQL Server 2005、2008、2008R2、2012 (Express バージョンも可)
- Internet Explorer 8、9、10、11\*

(\*) Windows 8.1 と IE11 をお使いの場合、IE を管理者として実行し、ブラウザーの [インターネット オプション] の [詳細設定] で [拡張保護モードを有効にする] の選択を解除する必要があります。

## **ハードウェア要件**

- 最小ハードウェア構成 : 2 GB 以上の RAM を搭載した Pentium IV および 3 GB 以上の HDD 空き容量 (推奨 : Intel i3 以降) 。

## **サーバーリポジトリ**

### **ソフトウェア要件**

- **オペレーティングシステム :** Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows Server 2003、2003R2、2008、2008R2
- **ソフトウェア :**
  - .NET Framework 2.0 SP 2
  - .NET Framework 3.5
  - ASP.NET を含む IIS 6.0 以降
  - Microsoft SQL Server 2005、2008、2008R2、2012 (Express バージョンも可)
- **推奨 :**
  - Microsoft SQL Server 2008R2 または Microsoft SQL Server 2012

### **ハードウェア要件**

- 最小ハードウェア構成 : 2 GB 以上の RAM を搭載した Pentium IV および 10 GB 以上の HDD 空き容量。推奨 : Intel i3 以降

## ユーザー登録

GeneXus Japan の Web サイト内の「問題追跡システム」または「サポート」ページからユーザー登録を行います。ここで登録したユーザー名とパスワードは、ライセンス請求のほかに、「問題追跡システム」、「フォーラム」、技術者向けの文書、プラグイン、製品、およびアップデートなどをダウンロード可能な「Gxtechnical」を利用する際にも使用します。

1. GeneXus Japan の Web サイト内にある「問題追跡システム」または「サポート概要」ページにアクセスします：<http://www.genexus.com/community-and-support-jp/support-overview?ja>
2. 画面右側にある「新規登録」をクリックします。



**参考：**既に「GXtechnical」([www.gxtechnical.com](http://www.gxtechnical.com)) でユーザーアカウントを登録している場合、ユーザー登録は不要です。ライセンス請求をする際には、「GXtechnical」のユーザー名とパスワードを使用してください。

3. 次のような「ユーザー登録」画面が表示されます。「\*」の付いている項目は必須です。それぞれの入力フィールドに情報を入力します。

Japan > ユーザ登録

## GeneXus コミュニティへ入会

名\* 半角英数文字を指定してください

姓\* 半角英数文字を指定してください

国\*  
URUGUAY

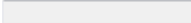
電子メール\*

ユーザー名\* 半角英数文字を指定してください

パスワード\* 半角英数文字を指定してください

パスワードの再入力\*



 参照

color

☒ プライバシーに同意します [ご利用条件](#)


アカウント作成

**重要：**「名」、「姓」、「ユーザー名」および「パスワード」は、必ず半角英数文字で指定してください。

4. すべての項目の入力が完了したら、「**アカウント作成**」ボタンをクリックします。
5. 下図のような画面が表示されたら、「**完了**」ボタンをクリックします。

Japan > ユーザ登録

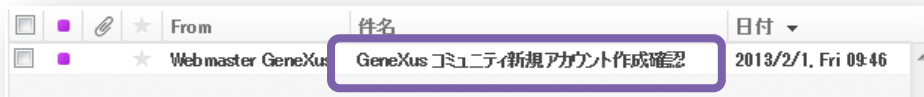
私たちのコミュニティの一員になるまであと一歩です。

登録の完了を知らせるメールが .co.jp に送信されました。  
続けるには、メールアドレスを確認してください。

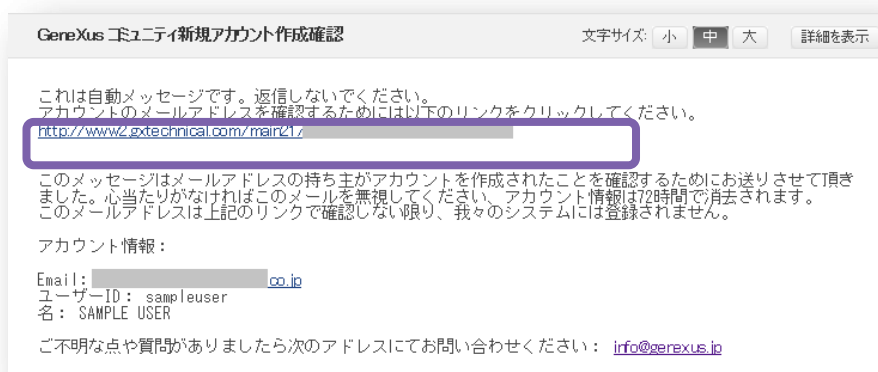
完了



間もなく、下図のように指定したメールアドレスに「**GeneXus コミュニティ新規アカウント作成確認**」という件名のメールが届きます。



6. 「**GeneXus コミュニティ新規アカウント作成確認**」を開いて、メールの内容を確認します。下図のようにメールに記載されているリンクテキストをクリックします。



7. 既定のブラウザが開き、「新規アカウントの確認」画面が表示されます。内容を確認します。画面上のリンクテキストをクリックすると、GXtechnical のページが表示されます。



これでユーザー登録は完了です。ライセンスを請求／登録する場合は、後述の「[ライセンスの請求](#)」および「[ライセンスの取得](#)」の手順を参照してください。

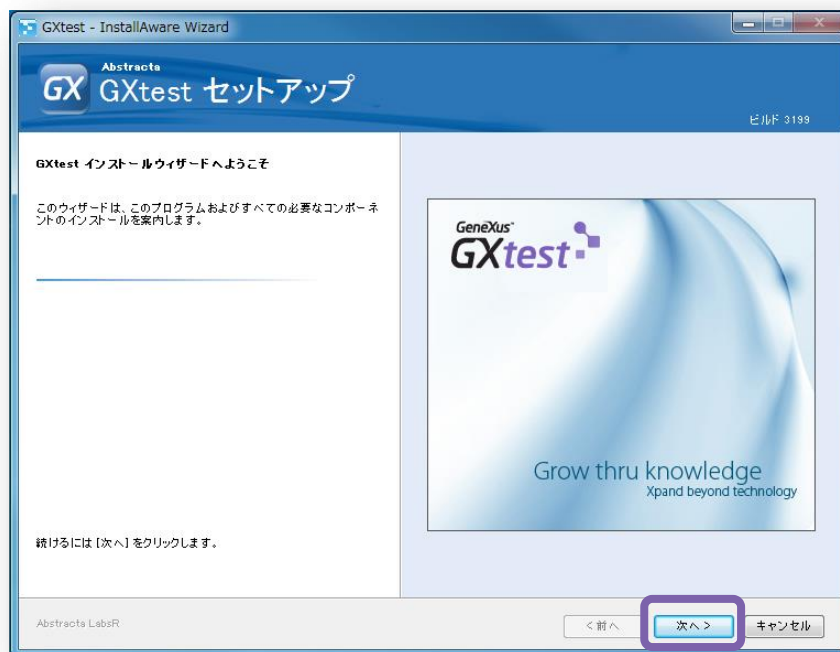
**参考：**「GXtechnical」([www.gxtechnical.com](http://www.gxtechnical.com)) でユーザーアカウントを登録する場合、英文のユーザー登録確認メールが届きます。

## アプリケーションのインストール

このセクションでは、GXtest をインストールするための手順について説明します。インストールを実行するには、管理者権限が必要です。インストールの前に必ず前述の「システム要件」を参照してください。使用するコンピューターがこのセクションに記載されている要件を満たしていることを確認してから、セットアップ プログラムを実行する必要があります。

1. セットアップ プログラム(「GXtest\_2.1.n\_nnnn\_jpn」といった名称です) を右クリックして「**管理者として実行**」を選択します。

次のようなインストールウィザード画面が表示されます。

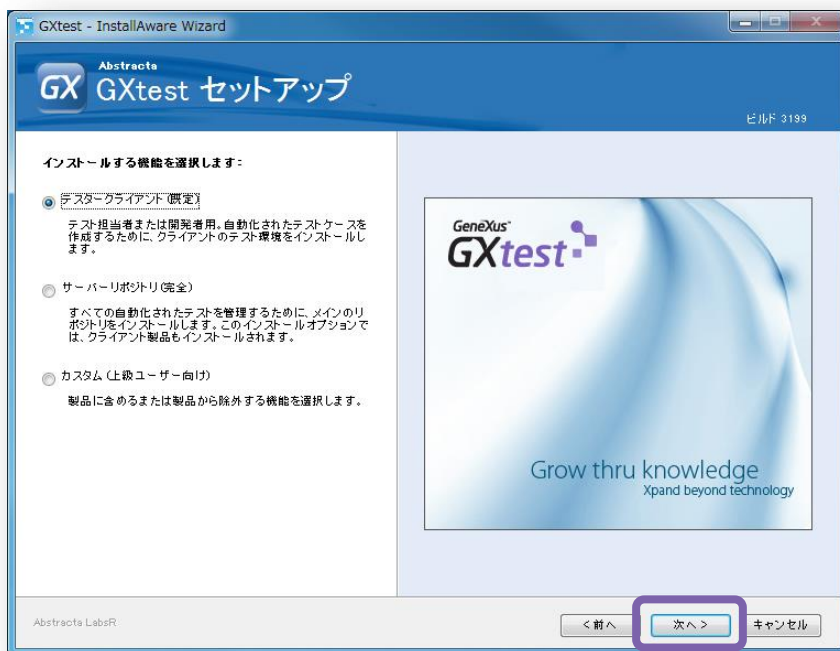


2. 「次へ」をクリックします。ライセンス使用権許諾が表示されます。
3. ライセンス使用権許諾の内容を一読し、同意する場合は、画面右下部にある「**使用許諾書の条項に同意します。**」のチェックボックスを選択します。

使用許諾に同意すると、「次へ」のボタンが選択可能になります。



4. 「次へ」をクリックします。重要なインストールの注意事項画面が表示されます。

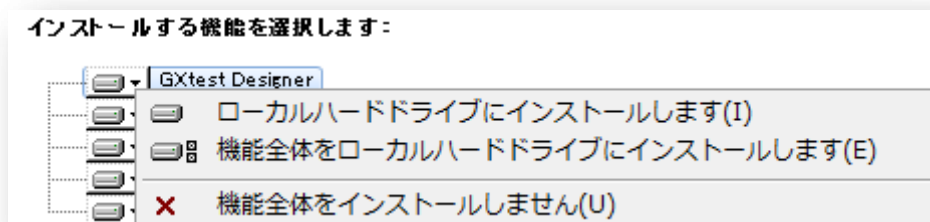
5. 「次へ」をクリックします。次のようなインストールする機能を選択する画面が表示されます。



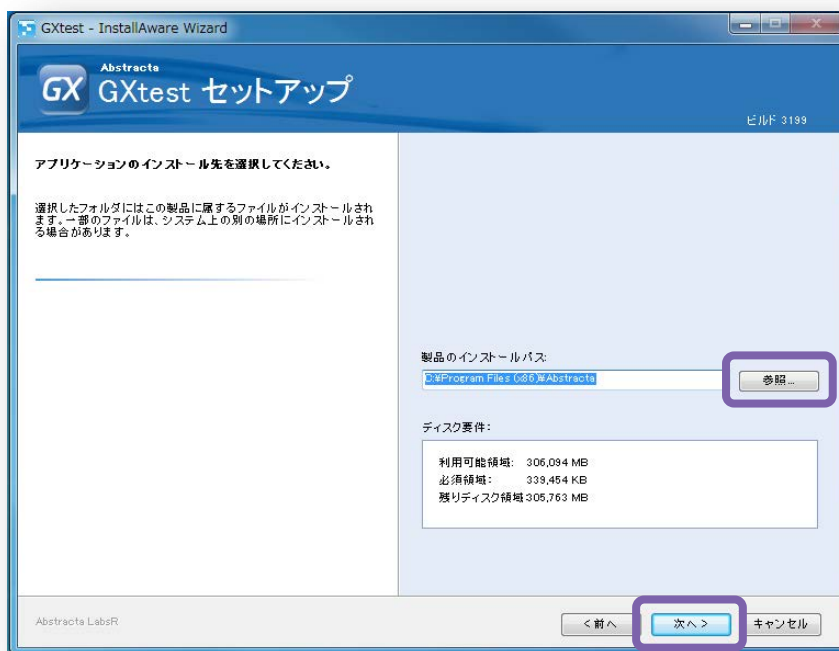
6. 次のオプションのいずれのオプションを選択します。

- **デスタークライアント(既定)** : テスト担当者や開発者用のインストールオプション
- **サーバーリポジトリ(完全)** : 中央管理するテストリポジトリ用のフルインストールオプション
- **カスタム(上級ユーザー向け)** : GXtest に含まれるツールの中から必要なツールのみを作業環境に応じてインストールするオプション

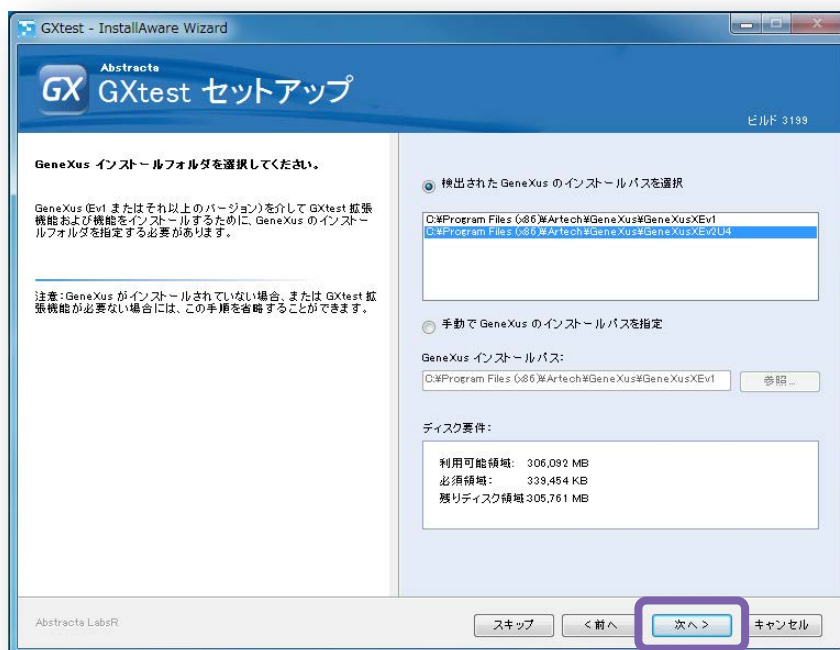
**参考** : 「カスタム」オプションを選択すると、各ツールの選択画面が表示されます。インストールを除外したいツールがある場合、ツール名の先頭に表示されているアイコンを  から  に変更します。



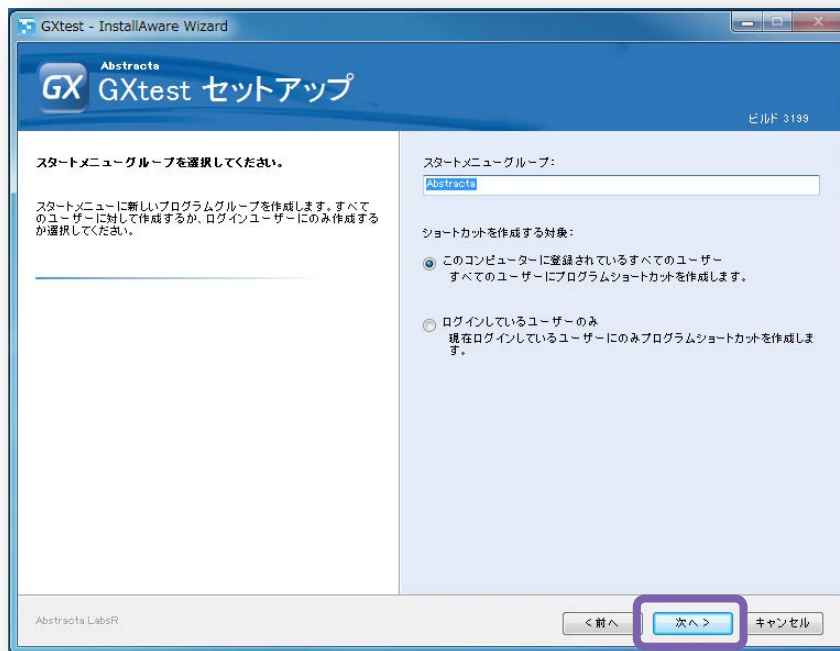
7. 「次へ」をクリックします。次のような画面が表示されます。



8. GXtest のインストールパスを変更する場合は「参照」ボタンをクリックして、任意のパスを指定します。
9. 「次へ」をクリックします。次のような GeneXus インストールフォルダを指定する画面が表示されます。

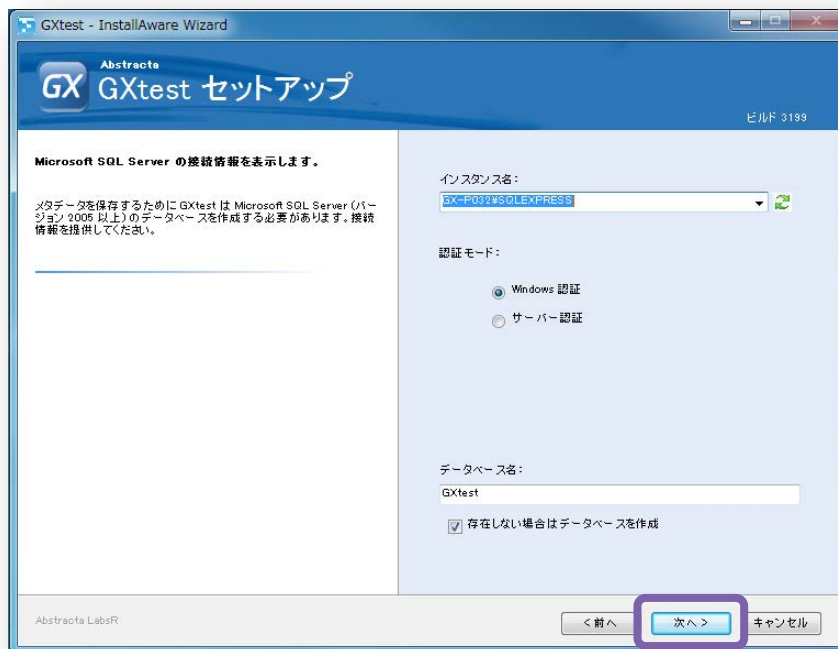


10. 既定では GeneXus のインストールフォルダが自動的に検出されますが、手動でインストールパスを指定する場合は、「**手動で GeneXus のインストールパスを指定**」ラジオボタンを選択し、「**参照**」ボタンをクリックして、インストールパスを指定します。
11. 「**次へ**」をクリックします。スタートメニューへの登録画面が表示されます。



12. 「**スタートメニューグループ**」フィールドにアプリケーション名を指定します。「**ショートカットを作成する対象**」として以下のいずれかのオプションを選択します。
  - 「**コンピューターに登録されているすべてのユーザー**」: すべてのユーザーにプログラムショートカットを作成します。
  - 「**ログインしているユーザーのみ**」: 現在ログインしているユーザーにのみプログラムショートカットを作成します。

13. 「次へ」をクリックします。SQL Server の情報登録画面が表示されます。



14. インストールウィザードにより自動的に「インスタンス名」が検出されますが、複数ある場合には、任意のインスタンス名を選択します。
15. 「Windows 認証」または「サーバー認証」のいずれかのオプションを選択します。「サーバー認証」を選択すると、「ユーザー名」と「パスワード」の入力フィールドが表示されます。適切なユーザー名とパスワードを入力してください。
16. 「次へ」をクリックします。インストールウィザードにより、インストールに必要なアプリケーションが全て揃っているかどうかを検証されます。インストール可能な状態である場合、インストールの開始画面が表示されます。
17. 「次へ」をクリックします。インストールの進捗状況を示すプログレスバーが表示されます。
18. セットアップの完了画面が表示されたら、「完了」をクリックします。続けてライセンス請求を実行する場合は、「ライセンスマネージャを開く」のチェックボックスをクリックしてから、「完了」をクリックします。

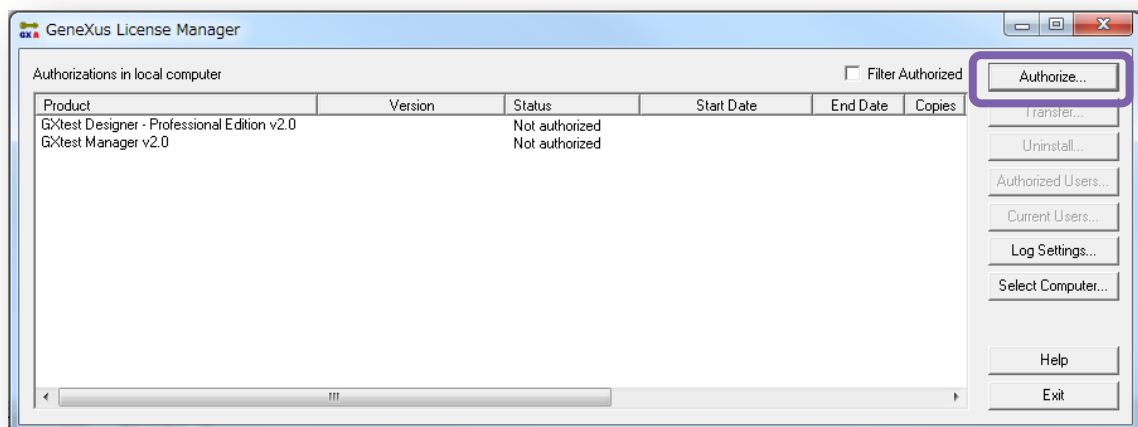
これで GXtest のインストールは完了です。アプリケーションを使用するには、ライセンスの請求／登録が必要です。次の「ライセンスの取得」の手順を参照してください。

## ライセンスの請求

このセクションでは、ライセンスを新規で請求する場合、ライセンスの使用期限を残した状態で継続（期限の延長）請求する場合のそれぞれの手順について説明しています。

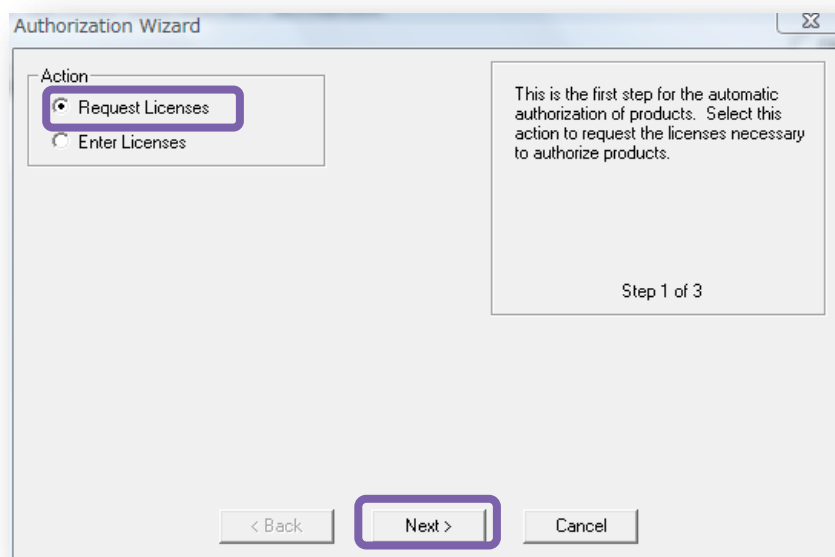
### 新規ライセンス請求

1. GXtest のプログラムグループから「**ライセンスマネージャ**」アプリケーションを起動します  
(Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**ライセンスマネージャ**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。
2. 「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類とライセンスの状態が表示されます。



2. 「**Authorize**」ボタンをクリックします。

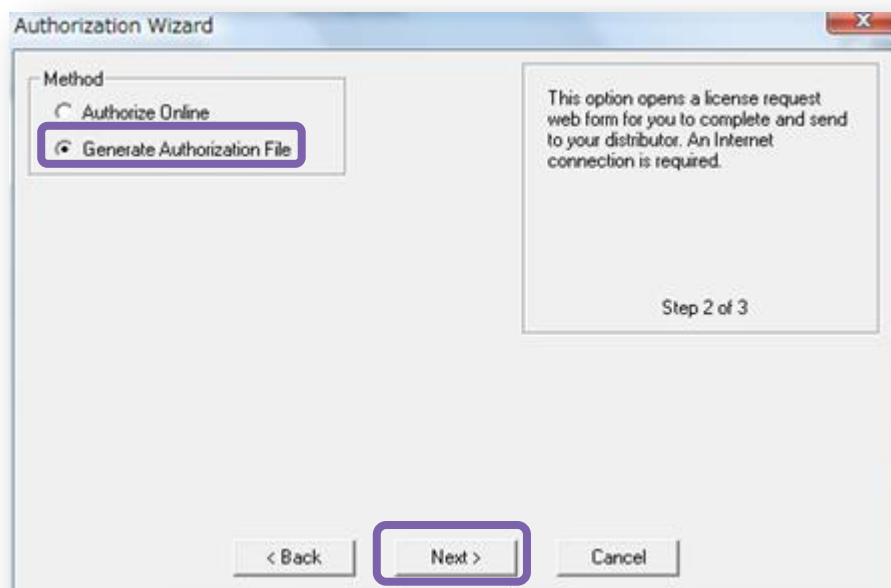
ライセンスの請求または取り込みオプションが表示されます。



3. 「**Request License**」を選択してから「**Next**」ボタンをクリックします。

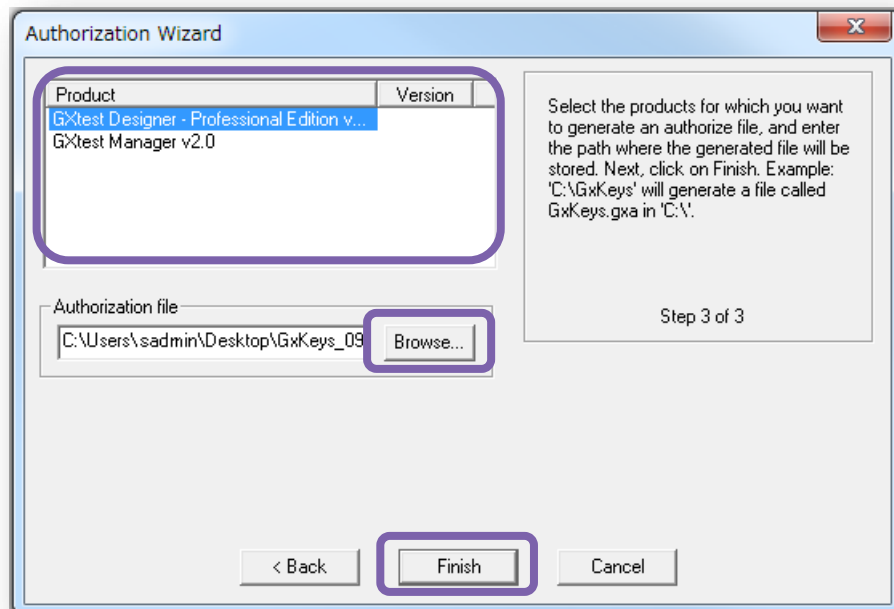
次のようなライセンス請求方法の選択画面が表示されます。

4. 「**Generate Authorization File**」を選択してから「**Next**」ボタンをクリックします。



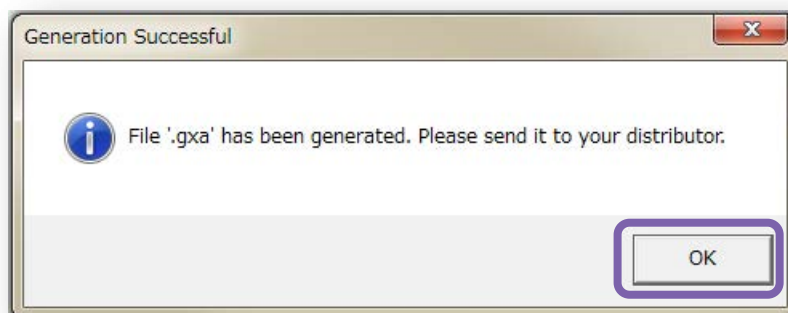


ライセンスを請求する製品の選択画面が表示されます。



5. 「**Product**」から「**Gxtest Designer – Professional Edition**」（「**Gxtest Manager**」）を選択し、「**Finish**」ボタンをクリックします。
6. 「**.gxa**」という名前のファイルが生成されます。このファイルの保存先を変更する場合には、「**Browse**」ボタンをクリックしてから、任意の場所を指定します。

「**.gxa**」ファイルが生成されたことを示す、次のようなダイアログが表示されます。



7. 「**OK**」ボタンをクリックします。保存先を変更していない場合、GXtest のプログラムと同じ場所に「**.gxa**」ファイルが保存されます。



8. 手順7で生成された .gxa ファイルの名称を「GXT\_XXXX.gxa」のように変更します。「XXXX」には、ご購入の販売店または弊社から送信されたご案内メール記載されているライセンス番号を入力してください。
9. お使いのメールアプリケーションで新規メールを作成し、上記の手順で生成した「.gxa」ファイルを [keysmaster@genexus.jp](mailto:keysmaster@genexus.jp) に送信します。

**重要：**販売店から GXtest を購入されたお客様の場合、「.gxa」ファイルを販売店宛に送信し、販売店からライセンスキーを受領してください。受領したライセンスキーを取り込む方法については、後述の「[ライセンスの取得](#)」を参照してください。

これで GXtest のライセンス請求は完了です。ライセンスキー ファイルを登録する方法については、後述の「[ライセンスの取得](#)」を参照してください。

**重要：**ライセンスの発行は Artech 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

#### ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

## 継続ライセンス請求

ライセンスの有効日数が残存している状態で、有効日数を延長（ライセンスを継続）することができます。  
このセクションでは、継続ライセンス請求について説明します。

**重要：** GeneXus License Manager の「Status」が「Expired」になると、ライセンスが失効されるため、新規にライセンスを請求しなおす必要があります。ライセンスの期限切れを防ぐため、ライセンスの継続請求は 5 営業日前までをお願い致します。

有効期限よりも早めに継続請求を頂いた場合は、1 年間分の有効期間に早めに頂いた日数分をプラスしライセンスを発行致します。

例) <2014 年 10 月 15 日まで有効のライセンス>

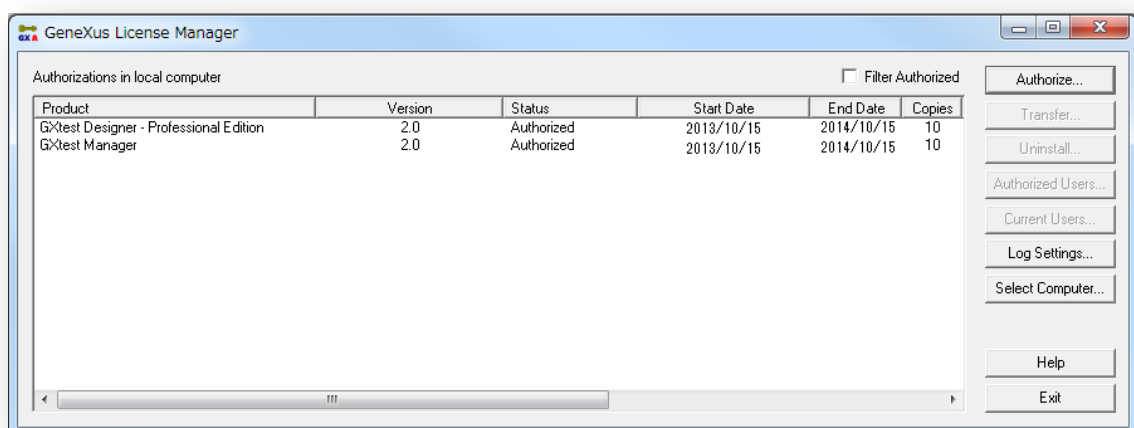
2014 年 10 月 7 日継続請求 → 2015 年 10 月 15 日まで有効のライセンスとして、ライセンスを発行

1 年間分+早めにご請求を頂いた日数分をプラスし、ライセンスを発行致します。

次の手順にしたがって、継続ライセンスを請求します。

1. GXtest のプログラムグループから「**ライセンスマネージャ**」アプリケーションを起動します  
(Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**ライセンスマネージャ**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



2. 「GeneXus License Manager」の起動時の画面（上図を参照）のスクリーンショットを撮り、保存します。

スクリーンショットには「**Product**」、「**Version**」、「**Status**」、「**Start Date**」、「**Copies**」、および「**Restriction**」の「**Validity Days**」の内容が表示されている必要があります。

3. 「[新規ライセンス請求](#)」のセクションの手順 2～8 にしたがいます。
4. メールアプリケーションで新規メールを作成し、以下のファイルと情報を [keysmaster@genexus.jp](mailto:keysmaster@genexus.jp) に送信します。
  - 「GeneXus License Manager」の起動画面のスクリーンショット
  - 「Windows」フォルダにある「GxProt.log」ファイル
  - 上記の手順で作成した「.gxa」ファイル
  - 注文書に記載されているライセンス番号

以上でオフラインでの継続ライセンス請求は完了です。

ライセンスキーは、上記のファイルを送信したメールアドレスに送信されます。ライセンスを有効にする方法については、後述の「[ライセンスの取得](#)」を参照してください。

**重要：**ライセンスの発行は Artech 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

#### ライセンス請求受付時間

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

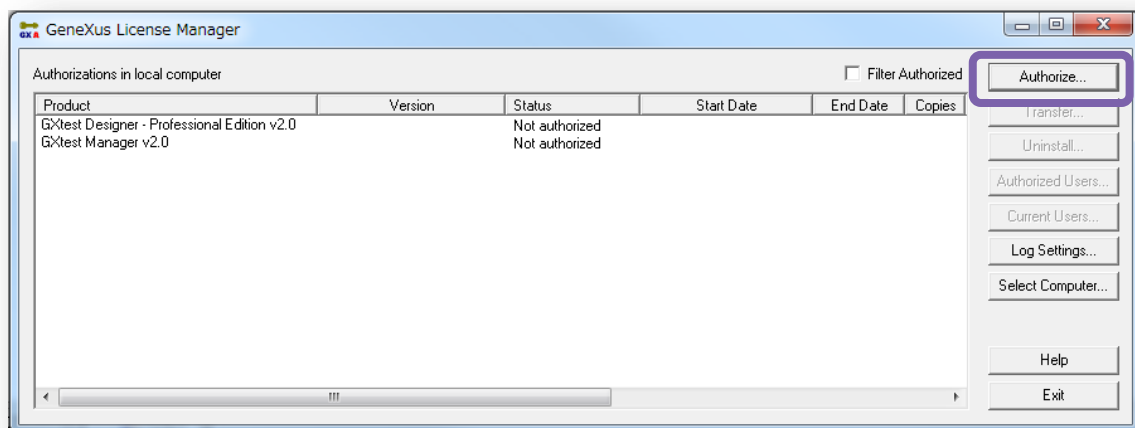
## ライセンスの取得

発行されたライセンスキーは、ユーザー登録済みのメールアドレスに送信されます。添付のファイルを開いて、ライセンスを請求したコンピューターにデータを取り込むことでライセンスを登録することができます。

ここでは、ライセンスファイルの取り込み手順を説明します。

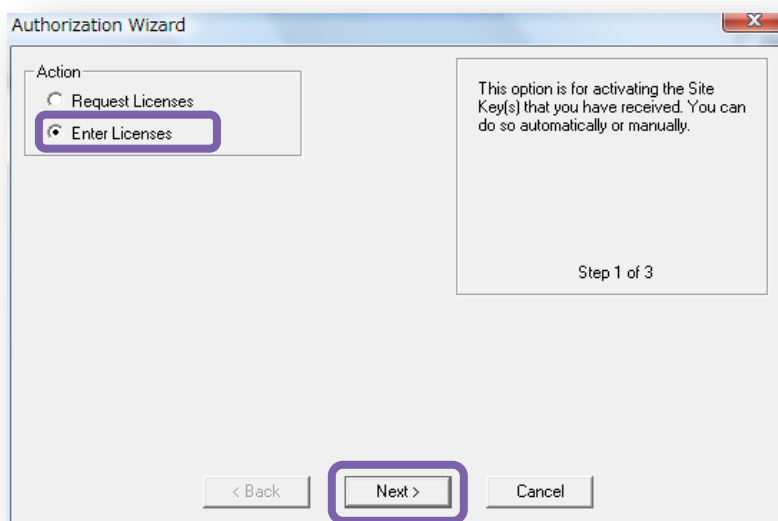
1. メールに添付されたライセンスファイル（.gxa ファイル）を、ライセンスを請求したコンピューターにコピーします。
2. GXtest のプログラムグループから「**ライセンスマネージャ**」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**ライセンスマネージャ**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類とライセンスの状態が表示されます。



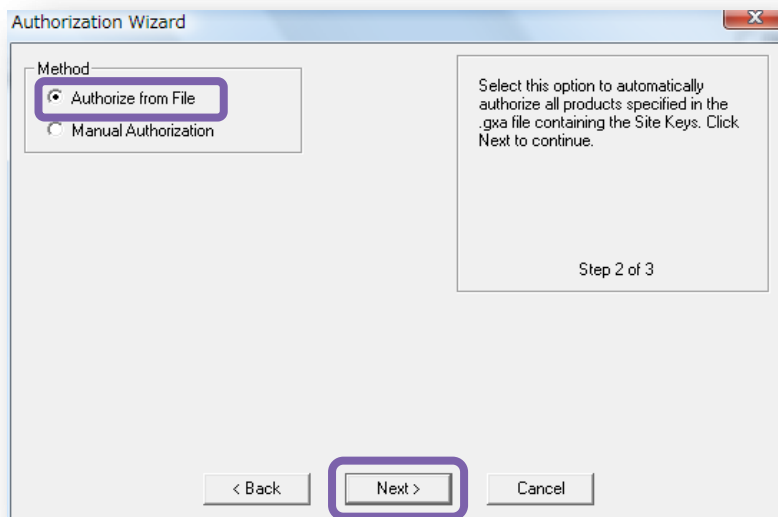
3. 「**Authorize**」ボタンをクリックします。

次のような取り込み画面が表示されます。



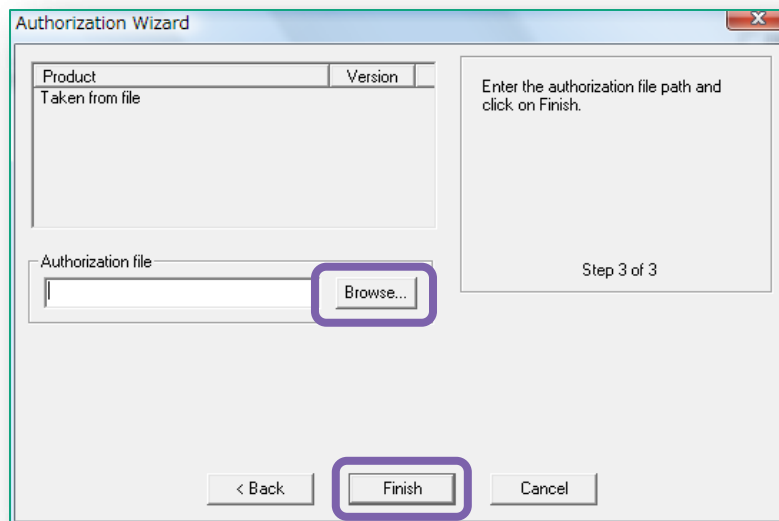
4. 「**Enter Licenses**」を選択してから「**Next**」ボタンをクリックします。

次のようなライセンスの取得オプションの選択画面が表示されます。



5. 「**Authorize From File**」を選択して「**Next**」ボタンをクリックします。

次のようなライセンスファイルの選択画面が表示されます。



6. 「**Browse**」ボタンをクリックして、手順 1 でコピーしたファイルを選択し、「**Finish**」ボタンをクリックします。

これでライセンスの取得（登録）は完了です。

## ライセンスの移行

複数のライセンスを一括で請求した後で、GXtest を使用する各ユーザーにトランスファー（.trf）ファイルを作成して配布（移行）することができます。この場合、各ユーザーのコンピューターにインストールされている「GeneXus License Manager」のバージョンは、ライセンスの移行元のコンピューターにインストールされているバージョンと同一である必要があります。これとは逆に、個別に請求したライセンスを一箇所にまとめることもできます。ただし、ライセンスの有効日数（残存日数）と「GeneXus License Manager」の「Start Date」（開始日）が同じである必要があります。また、この場合も「GeneXus License Manager」のバージョンが同じでなければなりません。

ライセンスの移行には次の 2 通りの方法があります：

- **Register Transfer:** このオプションは、2 台のコンピューター間で 1 つ以上のライセンスを移行する場合に使用します。2 台のサーバー間、2 台のコンピューター間、サーバーとクライアントコンピューター間、クライアントコンピューターとサーバー間で実行可能です。
- **Direct Transfer:** このオプションでは、ライセンス管理者のコンピューター（ソースマシン）または Protection Server（ソースサーバー）から、同じネットワーク上の別のユーザーのコンピューター（ターゲットマシン）または Protection Server（ターゲットサーバー）に 1 つ以上のライセンスを移行することができます。GeneXus Protection Server がターゲットサーバーにインストールされている必要があります。

### 2 台のコンピューター間でライセンスを移行する

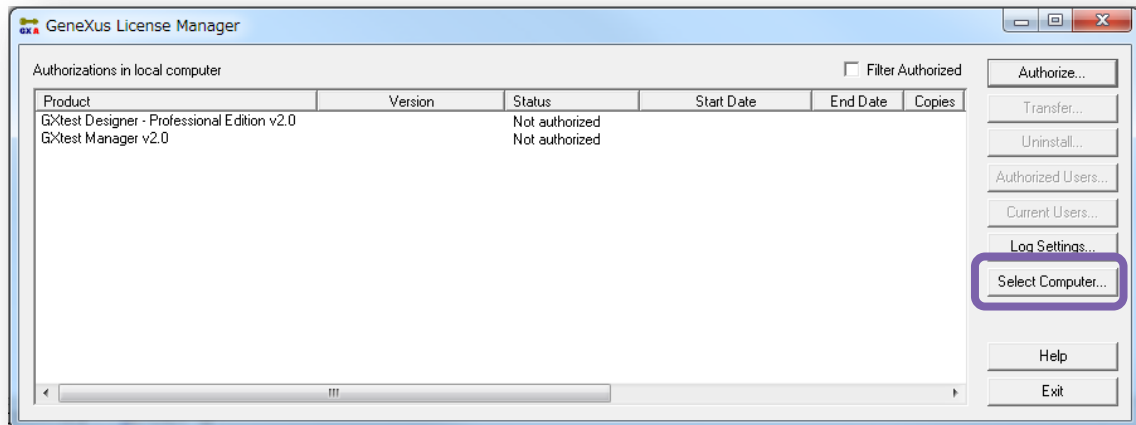
ここでは、2 台のコンピューター間で 1 つ以上のライセンスを移行する方法について説明します。この場合、はじめにライセンスの移行先のコンピューター（ターゲットマシン）でライセンス情報の登録用ファイルを作成（Register License）し、次にライセンスがインストールされているコンピューター（ソースマシン）でライセンス情報を書き出し（Transfer Out）、最後にターゲットマシンでライセンスを読み込む（Transfer In）操作を実行する必要があります。

**重要：**ライセンスを移行する前に各ユーザーのコンピューターおよびサーバーにインストールされている「GeneXus License Manager」のバージョンが同じであることを確認してください。異なるバージョン間ではライセンスの移行はできません。



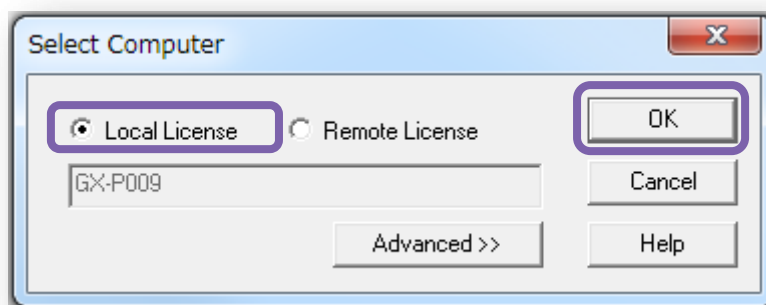
1. ターゲットマシン（ライセンスの移行先）のGXtestのプログラムグループから「**ライセンスマネージャ**」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**ライセンスマネージャ**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。



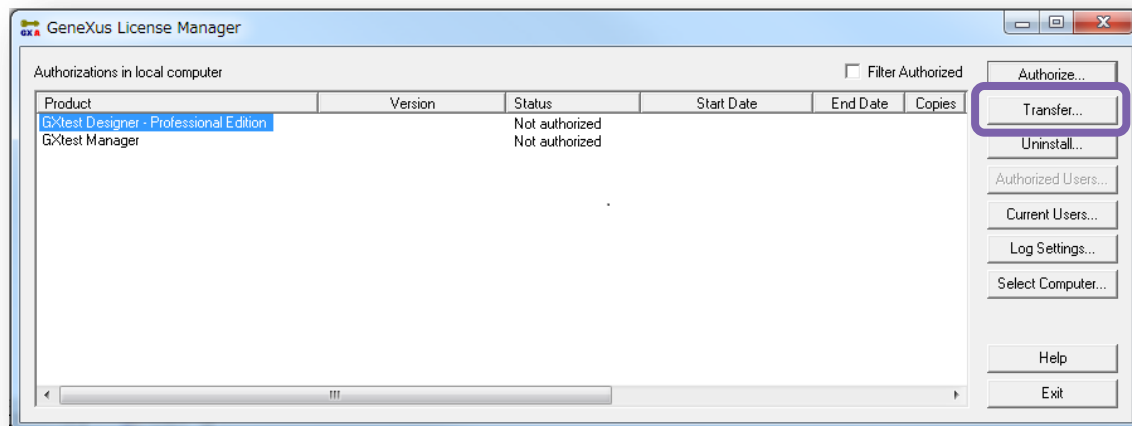
この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。

2. 「**Select Computer**」をクリックします。「Select Computer」ウィンドウが表示されます。

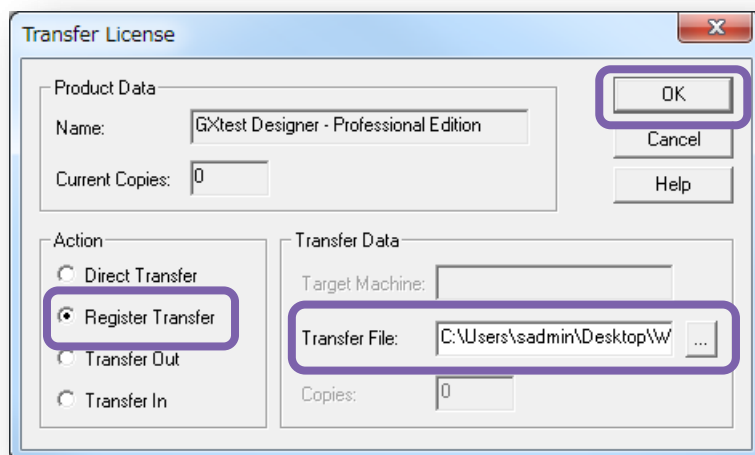


3. 「**Local License**」のオプションが選択されていることを確認し、「**OK**」ボタンをクリックします。

「GeneXus License Manager」の起動画面に戻ります。



4. 「Product」から「GXtest Designer – Professional Edition」（「GXtest Manager」）を選択し、「Transfer」ボタンをクリックします。
5. 「Transfer License」画面が表示されたら、「Action」セクションの「Register Transfer」を選択し、「Transfer File」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、「GxProt.trf」ファイルの保存先を指定します。

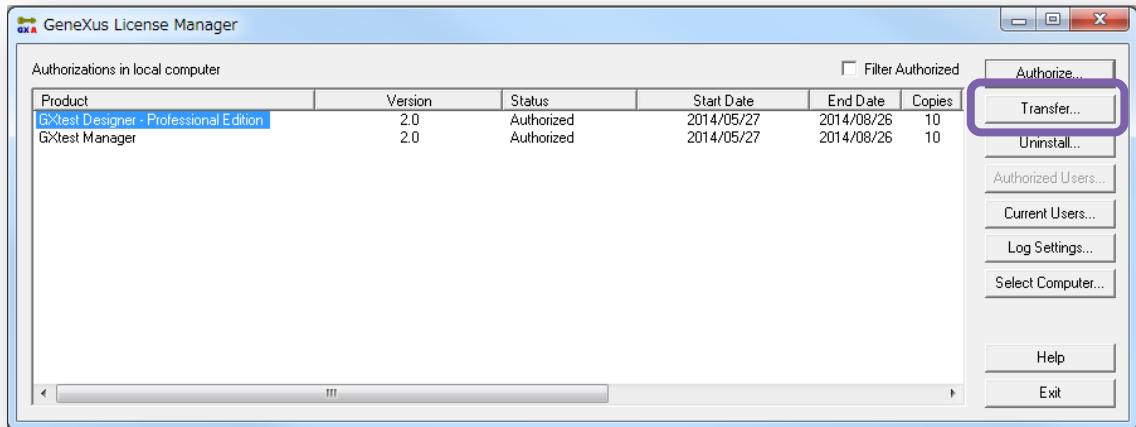


**参考：**「GxProt.trf」は既定のファイル名です。「.trf」の拡張子を持つ、任意のファイル名に変更してください。

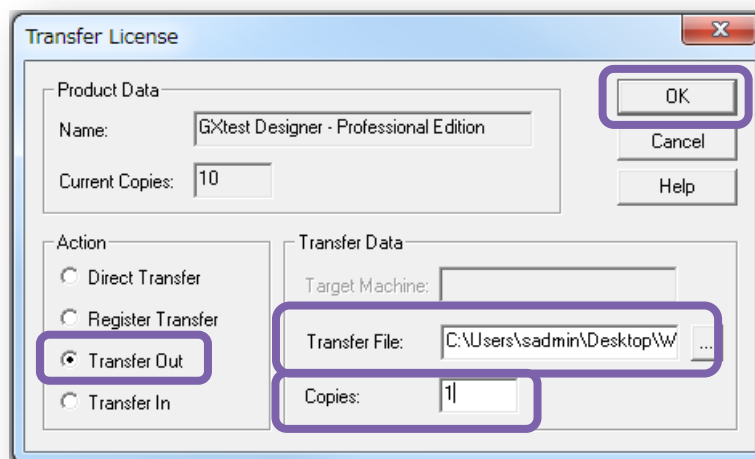
6. 「OK」をクリックします。ほかにも移行したいライセンスがある場合は手順 4～6 を繰り返します。
7. 「GxProt.trf」ファイル（複数のライセンスを移行する場合はすべての .trf ファイル）をソースマシン（ライセンスキーがインストールされているコンピューター）にコピーします。

この後、ソースマシン（ライセンスの移行元）で操作を行います。

8. ソースマシンから「GeneXus License Manager」アプリケーションを起動します。次のような画面が表示されます。



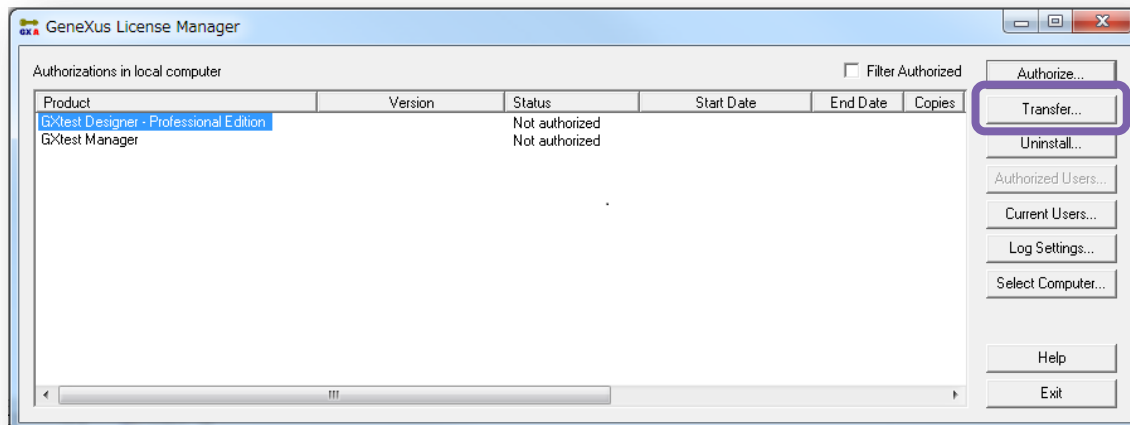
9. 「Product」から「Gxtest Designer – Professional Edition」（「Gxtest Manager」）を選択し、「Transfer」ボタンをクリックします。
10. 「Action」セクションの「Transfer Out」を選択し、「Copies」フィールドに必要な数を入力してから、「Transfer File」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、手順5の「GxProt.trf」ファイルを選択します。



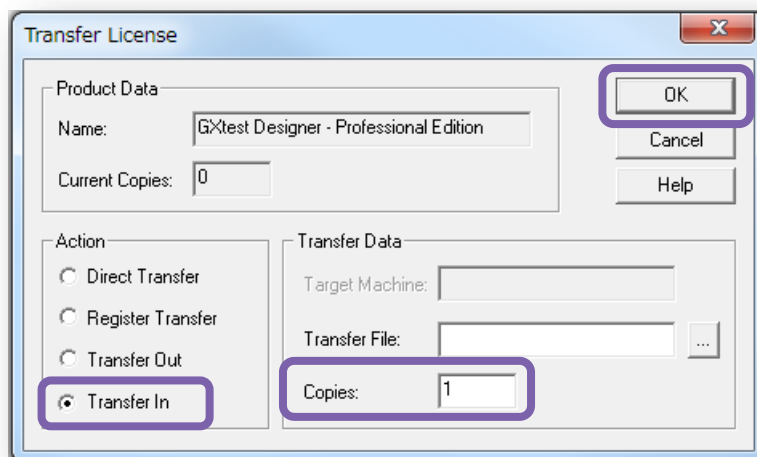
11. 「OK」をクリックします。ほかのライセンスも移行する場合は手順9～11を繰り返します。
12. ライセンスデータを格納した「GxProt.trf」ファイル（複数のライセンスを移行する場合はすべての.trfファイル）をターゲットマシン（ライセンスの移行先）のにコピーします。

この後ターゲットマシン（ライセンスの移行先）に戻って操作を行います。

13. ターゲットマシンから「GeneXus License Manager」アプリケーションを起動します。次のような画面が表示されます。



14. 「Product」から「Gxtest Designer – Professional Edition」（「Gxtest Manager」）を選択し、「Transfer」ボタンをクリックします。
15. 「Action」セクションの「Transfer In」を選択し、「Transfer File」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、手順 12 の「GxProt.trf」ファイルを選択します。



16. 「OK」をクリックします。ほかのライセンスも移行する場合は手順 14～16 を繰り返します。
- これでライセンスの移行は完了です。

**重要：**ターゲットマシンでトランスファー(.trf)ファイルを作成後に、もう一度 .trf ファイルを作成しようとすると、警告画面が表示されます。これは .trf ファイルに格納される情報が異なるためです。はじめに作成されたファイルを使って、ソースマシンですでに「Trasnfer Out」処理が実行された場合、もう一度 2 度目に作成した .trf ファイルを使って「Transfer Out」処理をやりなおす必要があります。

## ネットワーク上のユーザーにライセンスを移行する

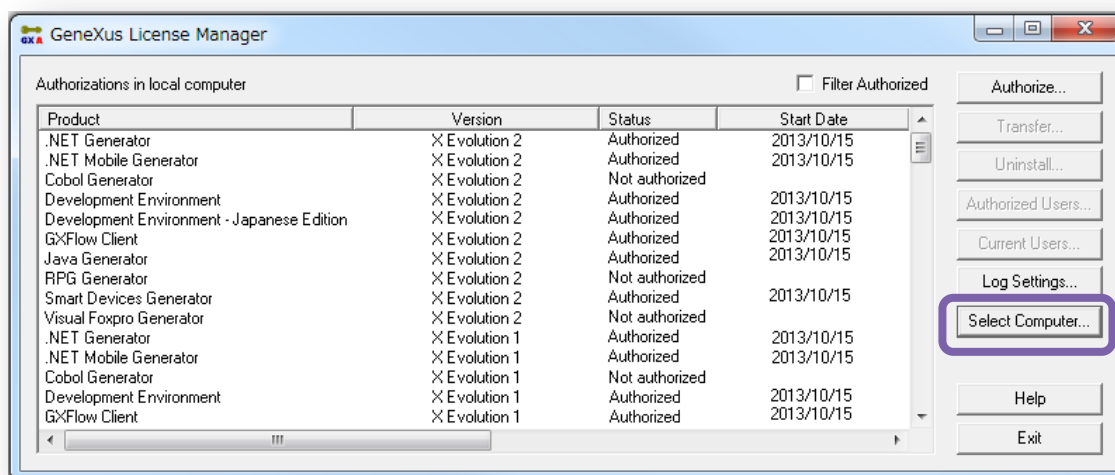
このセクションでは、Protection Server（ソースサーバー）またはライセンス管理者のコンピューター（ソースマシン）からネットワーク上の別のユーザーのコンピューター（ターゲットマシン）またはサーバー（ターゲットサーバー）にライセンスを移行する方法について説明します。

**重要：**ライセンスを移行する前に各ユーザーのコンピューターおよびサーバーにインストールされている「GeneXus License Manager」のバージョンが同じであることを確認してください。異なるバージョン間ではライセンスの移行はできません。

**重要：**複数の製品のライセンスを移行する場合、製品ごとにトランスファーファイルを作成する必要があります。ただし、同一製品のライセンスであれば、1つのトランスファーファイルに複数格納することができます。

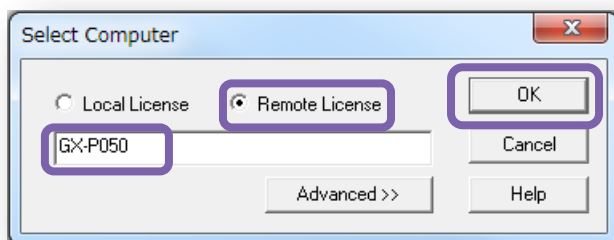
## Protection Server からライセンスを移行する

1. ターゲット（ライセンスの移行先）マシンまたはサーバーの GXtest のプログラムグループから「**ライセンスマネージャ**」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**ライセンスマネージャ**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。  
「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。

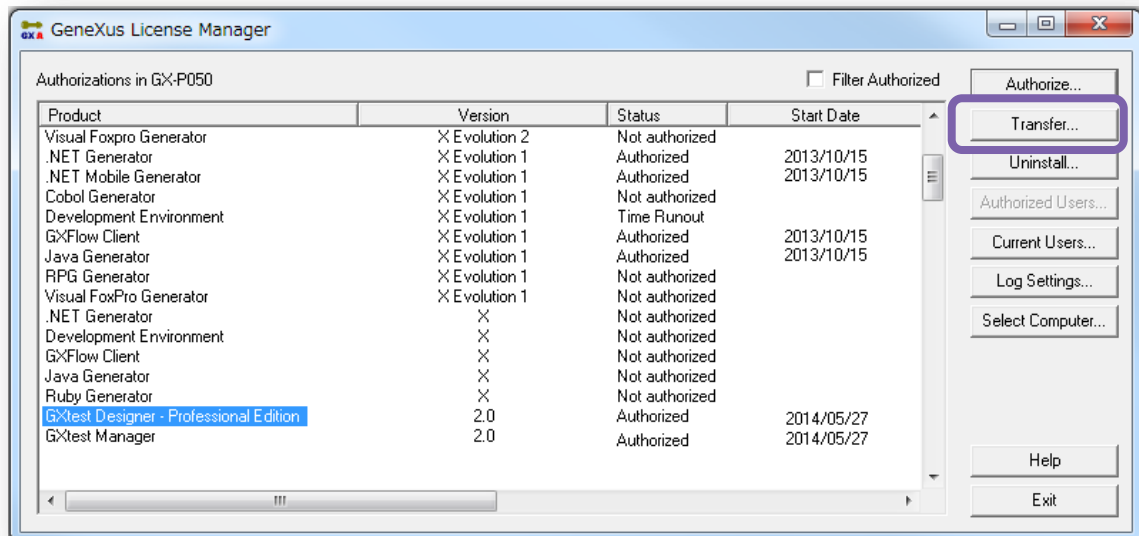


この画面には、製品の種類とライセンスの状態が表示されます。

2. 「**Select Computer**」ボタンをクリックします
3. 「**Remote License**」ボタンをクリックして、すぐ下の入力フィールドにソースサーバー（ライセンスの移行元）の IP アドレスまたは名前を指定し、「**OK**」ボタンをクリックします。

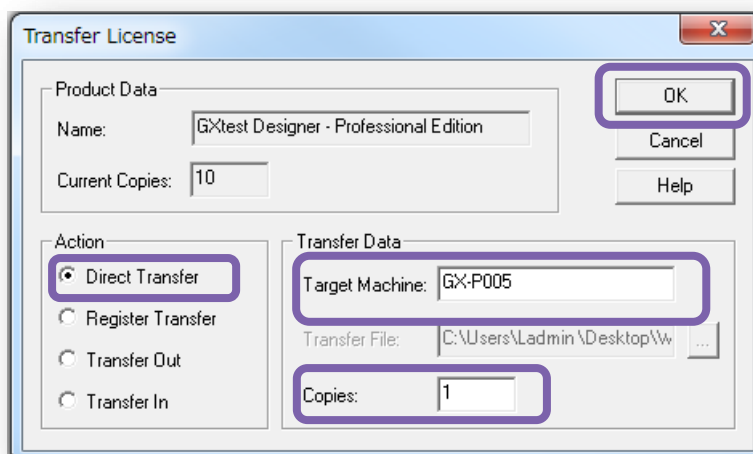


4. ソースサーバー（ライセンスの移行元）のライセンスが表示されたら、「**Gxtest Designer – Professional Edition**」（「**Gxtest Manager**」）を選択し、「**Transfer**」をクリックします。



**参考：**上図では、ライセンスの移行元（この例では GX-P050 という名前のサーバー）のライセンスの状態が表示されています。また、画面左上には、「Authorization in GX-P050」と表示され、リモートでソースサーバーのライセンスを参照していることを示しています。

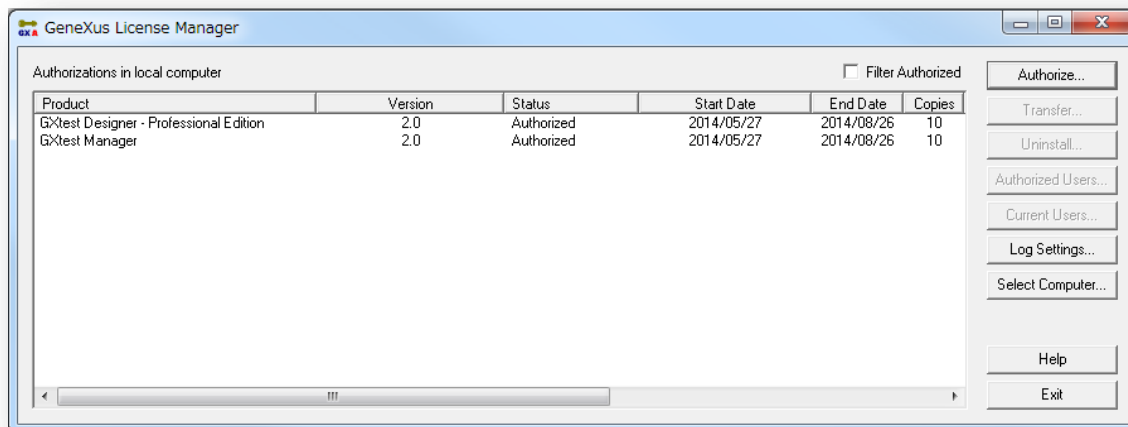
5. 「**Action**」セクションの「**Direct Transfer**」ボタンをクリックし、「**Target Machine**」フィールドにターゲットマシン（ライセンスの移行先のコンピューターまたはサーバー）を指定し、「**Copies**」フィールドに移行するライセンス数を指定します。



6. 「**OK**」をクリックします。これでライセンスの移行は完了です。

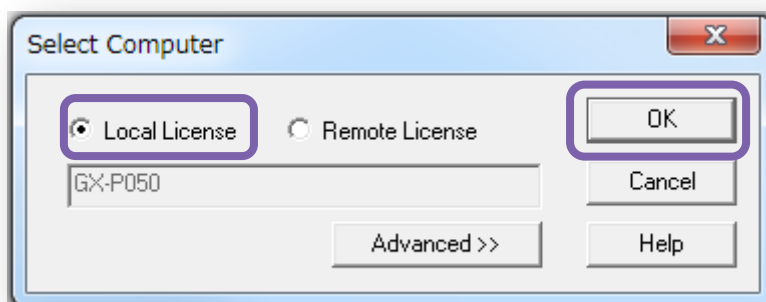
## ライセンスがインストールされているマシンからライセンスを移行する

1. ソースマシン（ライセンスがインストールされているコンピューター）の GXtest のプログラムグループから「**ライセンスマネージャ**」アプリケーションを起動します（Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**ライセンスマネージャ**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします）。  
「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。



この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。

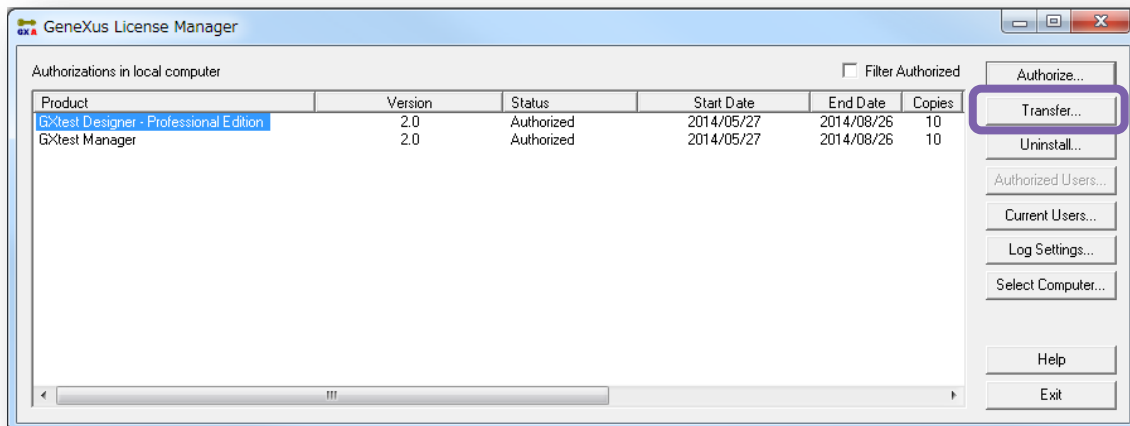
2. 「**Select Computer**」をクリックします。「Select Computer」ウィンドウが表示されます。



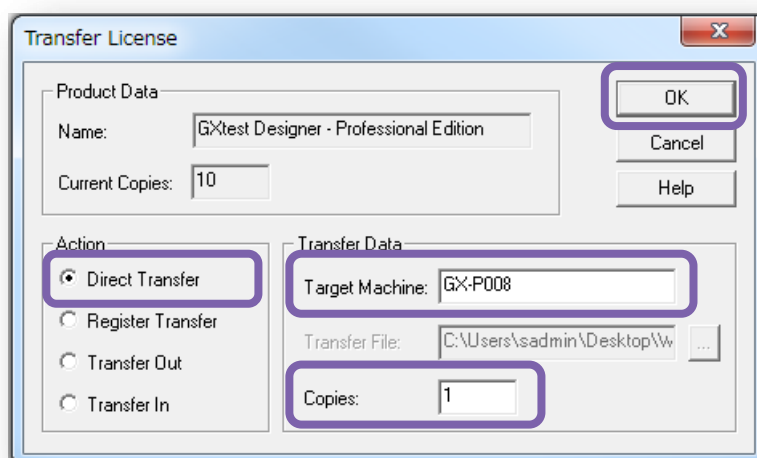
3. 「**Local License**」のオプションが選択されていることを確認し、「**OK**」ボタンをクリックします。  
「GeneXus License Manager」の起動画面に戻ります。



4. 「Product」から「Gxtest Designer – Professional Edition」（「Gxtest Manager」）を選択し、「Transfer」ボタンをクリックします。



5. 「Action」セクションの「Direct Transfer」ボタンをクリックし、「Target Machine」フィールドにターゲットマシン（ライセンスの移行先のコンピューターまたはサーバー）を指定し、「Copies」フィールドに移行するライセンス数を指定します。



6. 「OK」をクリックします。ほかのライセンスも移行する場合は手順 2～5 を繰り返します。  
これでライセンスの移行は完了です。

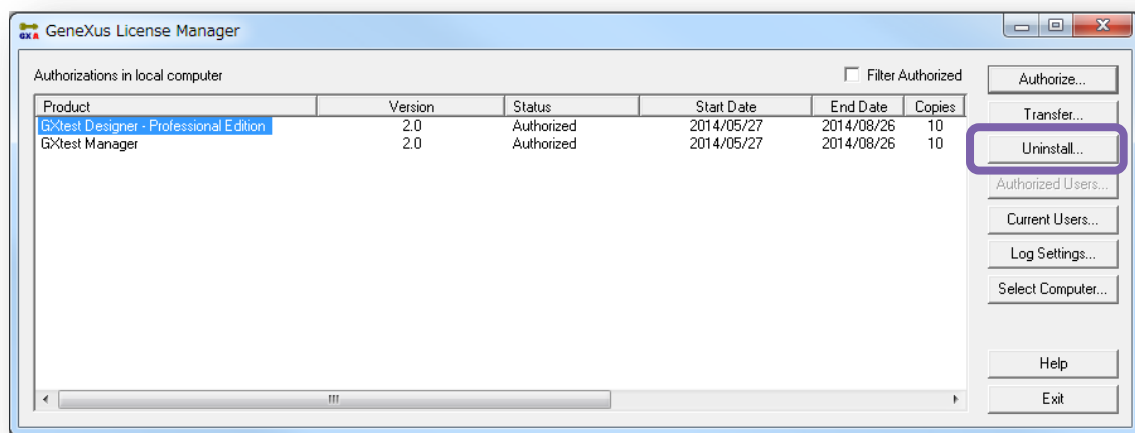
**参考：** 移行するライセンスがコンピューターにインストールされている場合、「Direct Transfer」オプションはそのコンピューター（ソースマシン）から実行する必要があります。移行するライセンスがサーバーにインストールされている場合には、ソースサーバーからでもターゲットサーバーからでも実行することができます。

## ライセンスのアンインストール

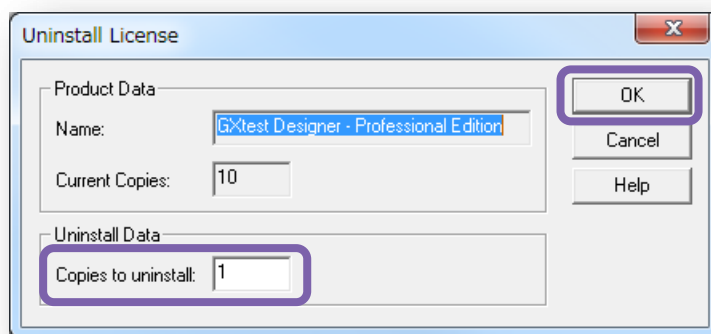
ここではライセンスをアンインストールする方法について説明します。

1. GXtest のプログラムグループから「**ライセンスマネージャ**」アプリケーションを起動します  
(Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**ライセンスマネージャ**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「**GeneXus License Manager**」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類とライセンスの状態が表示されます。



2. アンインストールする製品を選択してから、「**Uninstall**」ボタンをクリックします。  
次のような「**Uninstall License**」画面が表示されます。



3. 「**Copies to uninstall**」フィールドにアンインストールするライセンス数を入力してから「**OK**」をクリックします。これでライセンスのインストールは完了です。

## ライセンスの再発行について

このセクションでは、予期せぬトラブルで GXtest をインストールしているコンピューターが故障し、ライセンスの再発行が必要になった場合の手順について説明します。

トラブルによっては、エビデンスファイルを提出できる場合と、ハードウェアの破損により、エビデンスファイルを提出できない場合があります。それぞれのケースに応じた手順を説明します。

### エビデンスファイルを提出できる場合

#### GeneXus License Manager のステータスを確認する

GXtest が起動しない場合、「GeneXus License Manager」の「Status」欄に次のようなステータスが表示されている可能性があります：

- Suspended, data changed
- Suspended, authorization data changed

このようなステータスが表示される場合、次のことが考えられます。

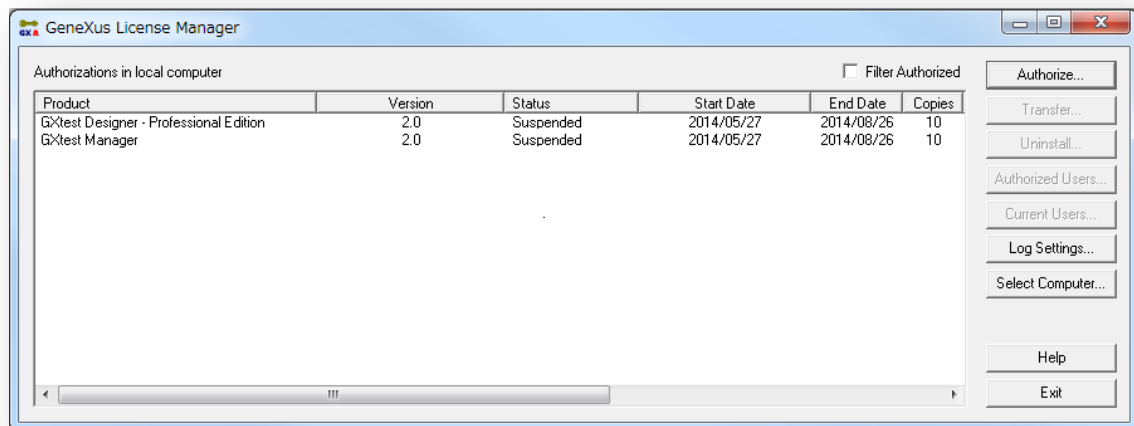
- GeneXus X Evn がインストールされている端末のシステム日付の変更
- レジストリー情報の修正
- OS のアップデートによるシステムの変更
- OS の不具合

**重要：** GeneXus および GXtest をインストールしているコンピューターでは、システム日付を変更したり、レジストリー情報を書き換えたりしないでください。「GeneXus License Manager」がシステムデータに不正な変更が加えられたと判断し、GeneXus および GXtest が使用できなくなる可能性があります。

## エビデンスファイルを作成する

1. GXtest のプログラムグループから「**ライセンスマネージャ**」アプリケーションを起動します  
(Windows Vista、Windows 7、8 の場合は「**ライセンスマネージャ**」のショートカットを右クリックして「**管理者として実行**」オプションをクリックします)。

「GeneXus License Manager」アプリケーションが起動すると、次のような画面が表示されます。



この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。

2. 「GeneXus License Manager」の起動時の画面（上図を参照）のスクリーンショットを撮り、保存します。

このスクリーンショットには「**Product**」、「**Version**」、「**Status**」、「**Start Date**」、「**Copies**」、および「**Restriction**」の「**Validity Days**」の内容が表示されている必要があります。

**重要：**「**緊急ライセンス**」の発行が不要な場合は次の手順に従います。「**緊急ライセンス**」の発行が必要な場合は手順3の操作と手順4のC)のファイル(.gxa)は**不要**です。また、**緊急ライセンスを請求される場合**、メールにその旨を必ずお書き添えください。

3. 「**新規ライセンス請求**」セクションの手順2～7にしたがいます。
4. メールアプリケーションで新規メールを作成し、以下のファイルをご購入の販売店または [keystmaster@genexus.jp](mailto:keystmaster@genexus.jp) に送信します。
  - A) 「GeneXus License Manager」の起動画面のスクリーンショット
  - B) 「Windows」フォルダにある「GxProt.log」ファイル
  - C) 上記の手順で作成した「.gxa」ファイル

## エビデンスファイルを提出できない場合

弊社に「ライセンス再発行依頼書」を請求し、必要事項を明記のうえ、社判を押印してから弊社に郵送してください。再発行依頼書の確認後に弊社より連絡を差し上げますので、別途ライセンスの請求手続き（新規ライセンス請求）を行ってください。ライセンス請求については、前述の「[新規ライセンス請求](#)」を参照してください。なお、ライセンス喪失により「緊急ライセンス」の貸与が必要な場合は、上記「**ライセンス再発行依頼書**」の**PDF ファイル**を添付し、お買い求めの販売店または弊社([keysmaster@genexus.jp](mailto:keysmaster@genexus.jp))までメールでご依頼ください。

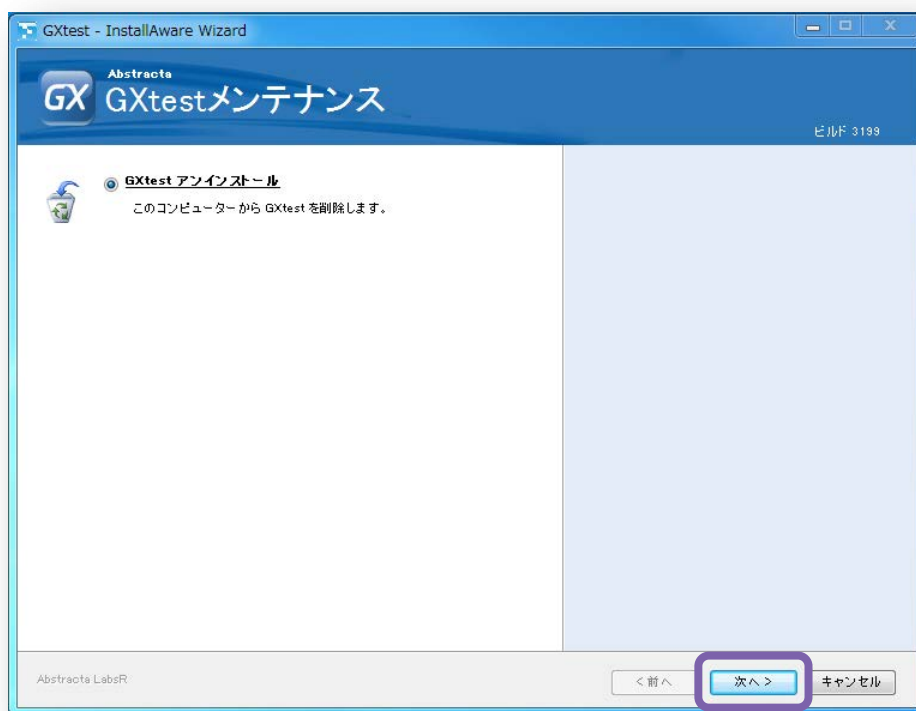
## 緊急ライセンスについて

GeneXus Japan ではトラブルによりライセンスを喪失されたお客さまのために「緊急ライセンス」を発行しています。これはライセンスが再発行されるまでの暫定的な処置として用意されている 15 日間限定のライセンスです。したがって緊急ライセンスを取り込んだ後に、ライセンスの再発行(新規ライセンス請求)が必要となります。この場合、緊急ライセンスの残り日数が「**2 営業日**」となる前までに緊急ライセンスをアンインストールし、新規ライセンス請求を行ってください。ライセンスのアンインストールおよび新規ライセンス請求については、それぞれ、前述の「[ライセンスのアンインストール](#)」、「[新規ライセンス請求](#)」を参照してください。

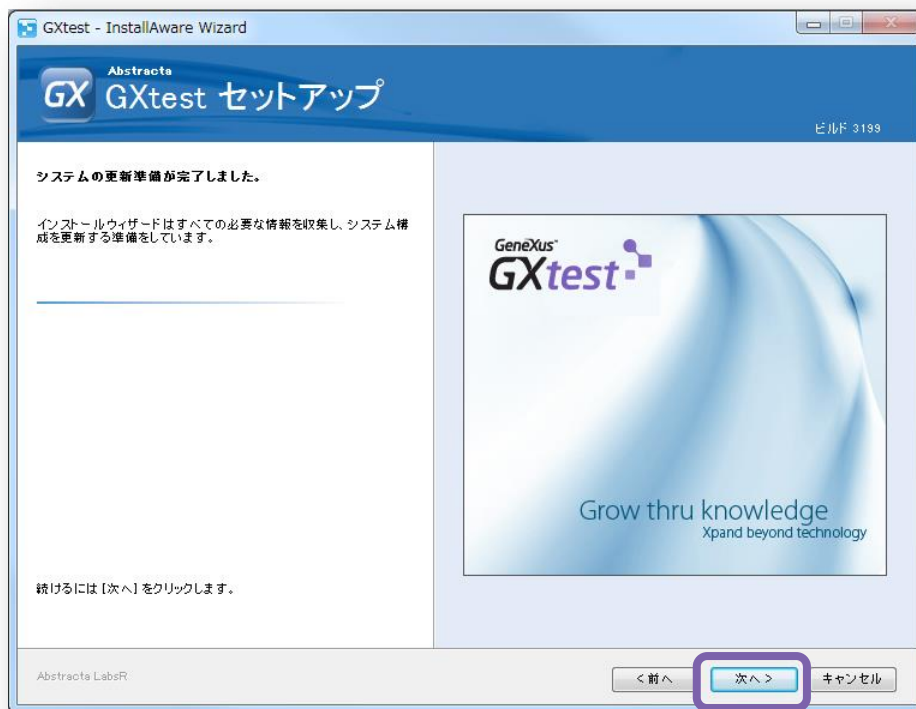
## アプリケーションのアンインストール

このセクションでは、アプリケーションのアンインストールについて説明します。

1. GeneXus Japan Web ページから GXtest のアプリケーションをダウンロードします。  
<http://www.genexus.com/products-japan/sdp?ja>
2. 「GXtest\_2.n.n\_nnnn\_jpn. zip」を解凍します。
3. 「GXtest\_2.n.n\_nnnn\_jpn.\_JP.exe」をダブルクリックして、インストーラを起動します。次のような画面が表示されます。



4. 「次へ」をクリックします。次のような画面が表示されます。



5. 「次へ」をクリックします。アンインストールの進捗を示すプログレスバーが表示されます。
6. アンインストールの完了を示す画面が表示されたら、「完了」をクリックします。

これでアプリケーションのアンインストールは完了です。

